|  |
| --- |
| ５　展開(板書計画)　　　　　　　　　　ねらい：正しい写真を選ぶ活動を通して、各段落のこまの特徴を読み取ることができる。それぞれの段落に「つくり」と「回し方」が説明されていることが分かる。 |
| 評価①正しいこまの写真をえらび、それぞれのこまの特徴を読み取ることができる。評価②グループ活動を行うことで、ヒントを得たり、自分の考えに自信をもったりすることができる。 |  | ６／２８　「こまを楽しむ」課題　正しいこまのしゃしんは、どれでしょうか。めあて「中」の文をよく読んで、しょうこを見つけよう。○見つけたしょうこに、赤と青で線を引こう。　・赤・・・つくり　・青・・・回る様子・回し方まとめ「中」の文にはしょうこがあった。こまの「つくり」と「回る様子・回し方」の二つのしょうこがある。▽筆者のくわしくせつめいするための工夫。ふり返り |
|  | ・予想される反応　○発問【つかむ段階】課題：正しいこまのしゃしんはどれですか。　・本文を読まないと分からないな。○２段落から７段落を音読して、写真を選びましょう。・写真をえらんだぞ。【考えをもつ段階】　めあて：「中」の文をよく読んで、しょうこを見つけよう。　　**※全体の学び合い**(２段落・３段落)○どうして色がわりごまだと分かりますか。　２段落のどこに、書いてありますか。・「こまの表面には、模様が描かれています。」・「ひねって回すと、もように使われている色がまざり合い、元の色とちがう色に変わるのがとくちょうです。」。・「同じこまでも、回すはやさによって、見える色がかわってきます。」※証拠に赤と青で線を引かせる。※３段落も同様に進める。・赤と青の線は何だろう。○見つけた証拠を赤と青の線で分けて引いていますが、違いが分かりますか。・赤は「つくり」、青は「回る様子・回り方」だ。○４段落にある「さか立ちごま」の証拠に、同じように線を引きましょう。**※個人**・この段落にも赤と青の線を引くところがありそうだ。【考えを深める・広げる段階】○グループで５段落から７段落から、こまを一つ選んで、証拠を見付けましょう。※活動の流れを提示する。**※個人で考える**・どこに線を引けばいいか、迷うな。・証拠を見付けて線が引けた。**※グループ活動**○どこに何色の線を引いたか話し合おう。・同じだ。これが証拠で間違いない。・あれ、私と違うな。どうしてだろう。・なるほど、そこに線を引くのか。**※全体で確かめ**○それぞれの班の考えを順番に伝え合いましょう。※各班代表一人が発表する。・やっぱりどの段落にも赤と青の線がある。【まとめの段階】　 ○「中」の文に証拠は見付けられましたか。　　・はい。　　○何が証拠になりましたか。 ・「つくり」と「回る様子・回し方」　まとめ：「中」の文には、しょうこがあった。こまの「つくり」と「回る様子・回し方」の二つのしょうこがある。 |